

麻しん(はしか)に注意！ ～国内で感染者が増加中～

2025年1月1日から3月16日までに、全国で32名の麻しん患者が報告されており、うち26名は3月に入ってから報告です。

群馬県でも、2025年第12週（3月17日～3月23日）に8年ぶりの麻しん患者報告がありました。

◆ どんな病気？

麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。

近年、感染者は子供よりも成人に多い傾向があります。

感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。

感染経路：空気感染（**手洗い・市販のマスクで予防できない**）、飛沫感染、接触感染

潜伏期間：通常約10～12日間。

感染可能期間：発症前日から解熱後3日を経過するまでは周囲に感染させるおそれがある

症状：高熱、発しん、せき、鼻水、目の充血など

合併症：肺炎、中耳炎、まれに脳炎などを合併し、最悪の場合死に至ることがあります。

ごくまれに麻しんにかかってから7～10年後に智能障害や運動障害を引き起こし死に至る「亜急性硬化性全脳炎」を発症することもあります。



◆ 予防方法は？

麻しんに対する特効薬はないため、**2回の予防接種で免疫をつけることが有効**です。

麻しんにかかったことがなく、2回の予防接種を受けていない方（特に医療・教育関係者や海外渡航を計画している方）は、予防接種を検討してください。

※1歳児と小学校入学前の1年間（定期予防接種対象者）は無料で予防接種を受けられます。



！！麻しんを疑う症状が出たら！！

- ・医療機関を受診する場合は、**必ず事前に電話**をして受診方法を確認し、指示に従って受診しましょう。
- ・受診の際は、公共交通機関の利用は避けましょう。
- ・他の人に感染させないように、不要不急の外出は避けましょう。

★麻しんについての詳しい情報はこちら

（群馬県ホームページ：麻しん（はしか）に注意しましょう <https://www.pref.gunma.jp/page/3309.html>）



＊この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター（群馬県衛生環境研究所）

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp